

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2021.4.13	2021.4.13	2021.4.13
採取時刻			9:42	10:10	9:15
全水深(m)			21.6	15.5	15.3
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa	+	+
2			Snowella sp.		+
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2750	1250
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	55	30
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		20
6			Mallomonas spp.	20	45
7			Synura spp.	15	35
8		珪藻	Asterionella formosa	+	40
9			Aulacoseira pusilla	50	+
10			Nitzschia acicularis		+
11			Skeletonema potamos	70	20
12			Ulnaria japonica	+	5
13			Thalassiosiraceae-5	10	15
14			Thalassiosiraceae-10	25	25
15			Thalassiosiraceae-25		+
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	55	40
17	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	7	
18			Coelastrum spp.	40	40
19			Crucigeniella sp.		+
20			Oocystis sp.		+
21			Scenedesmus spp.		40
22			Schroederia sp.	5	
23			Tetraedron sp.		+
24				CHLOROPHYCEAE	65
25	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1
26	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	+
27			EUROTATOREA		1
28	繊毛虫	キネトフラクミノフォーラ	Coleps sp.		+
29		貧膜口	SESSILIDA	30	19
30		多膜口	Tintinnidium spp.	1	1
31			Tintinnopsis sp.		+
32			POLYHYMENOPHORA	5	10
33			CILIOPHORA	10	15
34	不明プランクトン		微小鞭毛藻（5μm以下）	150	50
35			鞭毛藻	300	800
36			鞭毛虫	200	50
総数			3863	2555	2088
種類組成			藍藻	0	0
			クリプト藻	2750	1250
			渦鞭毛藻	55	30
			黄金色藻	35	65
			珪藻	155	215
			ユーグレナ藻	55	30
			緑藻	117	135
			その他の植物性動物性	450	650
				246	133
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2021.5.10	2021.5.10	2021.5.10	
採取時刻			11:10	11:52	10:35	
全水深(m)			20.1	15.6	15.7	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(15)		
2			Aphanothece sp.	(+)		
3			Dolichospermum sp.	(+)		
4			Snowella spp.	(+)	(5)	
5			Nostocaceae		(+)	
6			OSCILLATORIALES		(+)	
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	10	45	210
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+	10	
9	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	+		5
10			Mallomonas akrokomos	30	80	110
11			Mallomonas spp.	+	5	100
12		珪藻	Amphora sp.	+		
13			Aulacoseira ambigua	+		+
14			Aulacoseira pusilla			+
15			Nitzschia acicularis	+		
16			Ulnaria japonica	+		5
17			Thalassiosiraceae-5	5		
18			Thalassiosiraceae-10	5	+	
19			Thalassiosiraceae-25	+		+
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	20	+	25
21	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.			+
22			Closterium spp.	1	+	1
23			Coelastrum spp.	+	+	+
24			Dictyosphaerium sp.			+
25			Monoraphidium spp.	10	15	+
26			Pandorina morum			+
27			Pediastrum duplex			16
28			Scenedesmus acuminatus			+
29			Scenedesmus bicaudatus	+		
30			Scenedesmus spp.	50	80	240
31			Schroederia spp.	100	150	50
32			CHLOROPHYCEAE	390	220	270
33	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+	
34	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.		1	1
35			EUROTATOREA			+
36	絨毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA			+
37		-	CILIOPHORA	+	+	5
38	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	10	10	
39			鞭毛藻		20	10
40			鞭毛虫			+

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2021. 5. 10	2021. 5. 10	2021. 5. 10
総 数		631	651	1053
種 類 組 成	藍 藻	0	15	5
	ク リ プ ト 藻	10	45	210
	渦 鞭 毛 藻	0	10	0
	黄 金 色 藻	30	85	215
	珪 藻	10	0	5
	ユ ー グ レ ナ 藻	20	0	25
	緑 藻	551	465	577
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	10	30	10
検 査 条 件		0	1	6
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋			
採取年月日			2021.6.9	2021.6.9	2021.6.9			
採取時刻			10:35	9:50	11:15			
全水深(m)			17.4	15.6	15.5			
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50			
採水量(ml)			100	100	100			
No.	門	綱	出現種名					
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(30)	(35)	(230)		
2			Aphanothece spp.	(5)		(10)		
3			Cuspidothrix spp.	(15)	(15)	(25)		
4			Dolichospermum spp.	(15)	(5)	(5)		
5			Merismopedia sp.			(+)		
6			Microcystis aeruginosa			50		
7			Microcystis wesenbergii		50			
8			Nostocaceae		(190)	(270)	(425)	
9			OSCILLATORIALES			(5)		
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	45	70	35		
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	3	3	+		
12			Peridinium spp.	5	5	10		
13	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas spp.	10	20	+		
14			Acanthoceras zachariasii	+	20	5		
15			Asterionella formosa			+		
16			Aulacoseira pusilla			65		
17			Aulacoseira granulata			+		
18			Fragilaria crotonensis		125	383	61	
19			Fragilaria spp.			10	5	
20			Nitzschia fruticosa				+	
21			Nitzschia sp.				+	
22			Ulnaria japonica		35	350	20	
23			Urosolenia sp.				5	
24			Thalassiosiraceae-5		5	50	10	
25			Thalassiosiraceae-10		10	+	5	
26			BACILLARIOPHYCEAE		5			
27			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	40		35
28			緑色植物	緑藻	Ankyra spp.	20	30	65
29	Closterium spp.	+				5		
30	Coelastrum spp.					+	+	
31	Crucigeniella crucifera						80	
32	Dictyosphaerium spp.	+			+		+	
33	Elakatothrix spp.	+					10	
34	Eudorina sp.						16	
35	Golenkinia spp.					5	15	
36	Oocystis spp.				35	15	+	
37	Pandorina morum				32		+	
38	Pediastrum boryanum				+	+		
39	Pediastrum duplex				4	+	20	
40	Pediastrum simplex						16	
41	Pediastrum tetras				+	8	16	
42	Scenedesmus denticulatus				+			
43	Scenedesmus spp.				30	+	80	
44	Schroederia spp.					+	10	
45	Staurastrum spp.					2	+	
46	Tetraedron sp.						5	
47	Yamagishiella unicocca				384	160		
48	CHLOROPHYCEAE		3950	2950	3875			
49	輪形動物	輪虫	Keratella spp.	+	+			
50			Polyarthra spp.	2	2			
51			Trichocercidae	1	+	1		
52	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA			+		
53			多膜口	Tintinnidium sp.	1			
54		-	POLYHYMENOPHORA			5	5	
55			CILIOPHORA			15	35	
56	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	50	250		
57			鞭毛藻	300	250	100		
58			鞭毛虫	50	100	100		

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2021. 6. 9	2021. 6. 9	2021. 6. 9
総 数		5447	4883	5655
種 類 組 成	藍 藻	305	380	695
	ク リ プ ト 藻	45	70	35
	渦 鞭 毛 藻	8	8	10
	黄 金 色 藻	10	20	0
	珪 藻	180	813	176
	ユ ー グ レ ナ 藻	40	0	35
	緑 藻	4455	3170	4213
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	54	122	141
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2021.7.12	2021.7.12	2021.7.12		
採取時刻			10:35	9:45	11:10		
全水深(m)			20.8	15.7	15.6		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Cuspidothrix sp.	(+)			
2			Merismopedia spp.	(10)	(65)		
3			Microcystis aeruginosa	+	+	+	
4			Snowella sp.	(+)			
5			Nostocaceae	(+)	(10)		
6			CHROOCOCCALES			(10)	
7			OSCILLATORIALES		(5)		
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	25	90	35	
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	1		1	
10			Peridinium spp.	75	55	25	
11	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas spp.	10	55	10	
12			Acanthoceras zachariasii	45	30	20	
13			Aulacoseira ambigua	45	55	+	
14			Aulacoseira pusilla	+	10		
15			Aulacoseira granulata	+	+	+	
16			Nitzschia acicularis	5	10	10	
17			Nitzschia fruticosa	+		+	
18			Nitzschia spp.	10		25	
19			Skeletonema potamos			10	
20			Ulnaria japonica	10	10	10	
21			Urosolenia spp.	5	+	15	
22			Thalassiosiraceae-5	550	1300	260	
23			Thalassiosiraceae-10	+	55	170	
24			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	70	5
25	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+		40	
26			Ankyra spp.	30	30	30	
27			Closterium sp.	+			
28			Coelastrum spp.			+	+
29			Dictyosphaerium sp.				20
30			Elakatothrix sp.	+			
31			Golenkinia spp.				10
32			Lobomonas sp.				5
33			Micractinium spp.	20	10		
34			Monoraphidium spp.	15	20	10	
35			Oocystis sp.			+	
36			Pandorina morum			32	16
37			Pediastrum duplex			+	+
38			Pediastrum simplex	16			
39			Scenedesmus acuminatus	+			
40			Scenedesmus spp.	90	50	130	
41			Schroederia spp.	20			
42			Staurastrum spp.	2	1		+
43			Treubaria spp.			+	5
44			Yamagishiella unicocca	96	32		+
45			CHLOROPHYCEAE	1475	975		3200
46	節足動物	甲殻	CRUSTACEA			3	
47	輪形動物	輪虫	Asplanchna sp.	1			
48			Keratella spp.	1		1	
49			Polyarthra spp.	1	+	6	
50			Collothecidae	+			
51			Trichocercidae	1			
52			EUROTATOREA				+
53	繊毛虫	キネトフラグミノフォラ	Coleps sp.	1			
54			貧膜口	SESSILIDA	+	1	+
55			多膜口	Tintinnidium spp.	+	6	
56			Tintinnopsis sp.			1	
57			POLYHYMENOPHORA	10	5		
58	—	CILIOPHORA	15	5	20		
59	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA			5	
60	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	325	200	325	
61			鞭毛藻	50	175	125	
62			鞭毛虫	75	50	150	

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2021. 7. 12	2021. 7. 12	2021. 7. 12
総 数		3110	3278	4792
種 類 組 成	藍 藻	15	10	75
	ク リ プ ト 藻	25	90	35
	渦 鞭 毛 藻	76	55	26
	黄 金 色 藻	10	55	10
	珪 藻	670	1470	520
	ユ ー グ レ ナ 藻	70	5	25
	緑 藻	1764	1150	3466
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	375	375	450
	動 物 性	105	68	185
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2021.8.23	2021.8.23	2021.8.23		
採取時刻			11:25	11:50	10:59		
全水深(m)			21.1	12.8	15.4		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(35)	(35)	(60)	
2			Aphanocapsa spp.	(+)	(+)	(+)	
3			Aphanothece sp.	(+)			
4			Coelosphaerium spp.	(+)		(5)	
5			Cuspidothrix spp.	(+)	(5)	(10)	
6			Microcystis aeruginosa	7800	1750	14050	
7			Microcystis wesenbergii		204	+	
8			Pseudanabaena mucicola	(30)	(20)	(110)	
9			Nostocaceae	(15)	(35)	(10)	
10			CHROOCOCCALES			(10)	
11			OSCILLATORIALES	(80)	(30)	(85)	
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	45	45	330	
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	5	1	5	
14	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	30	10	400	
15			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	+		6
16			珪藻	Acanthoceras zachariasii	25	55	40
17				Aulacoseira ambigua		+	+
18				Aulacoseira pusilla	10		+
19				Aulacoseira granulata		+	+
20				Melosira varians			5
21				Nitzschia fruticosa		+	
22				Nitzschia sp.	+		
23				Ulnaria japonica	+	2	20
24	Urosolenia spp.	20		10	+		
25	Thalassiosiraceae-5	20		35	5		
26	Thalassiosiraceae-10	15	15	30			
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	30	5	25	
28	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+	40	
29			Ankyra spp.	230	105	75	
30			Closterium spp.	1	2	1	
31			Coelastrum spp.	40	+		
32			Crucigeniella crucifera	80	40		
33			Dictyosphaerium spp.	+	+	+	
34			Elakatothrix sp.			10	
35			Eudorina spp.	128	208	160	
36			Micractinium sp.		80		
37			Oocystis spp.	10	+		
38			Pediastrum duplex	+		+	
39			Pediastrum simplex	+	48	48	
40			Pediastrum tetras	+	+		
41			Scenedesmus spp.	60	100	30	
42			Staurastrum spp.	+	+	3	
43			Volvox spp.		620	12800	
44			Yamagishiella unicocca	4832		3072	
45			CHLOROPHYCEAE	410	140	1725	
46	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1		
47	輪形動物	輪虫	Keratella spp.	3		3	
48			Polyarthra spp.	+		8	
49			Testudinella spp.	5		1	
50			Trichocercidae			1	
51			EUROTATOREA	+			
52	繊毛虫	キネトフラク ^ミ ノフォーラ	Coleps sp.			+	
53			貧膜口	SESSILIDA	1		+
54			多膜口	Tintinnopsis spp.			2
55				POLYHYMENOPHORA			10
56			CILIOPHORA	15	5	10	
57	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA			+	
58	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	75		50	
59			鞭毛藻	25	100	125	
60			鞭毛虫		25	+	

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2021. 8. 23	2021. 8. 23	2021. 8. 23
総 数		14075	3730	33381
種 類 組 成	藍 藻	7960	2079	14340
	ク リ プ ト 藻	45	45	330
	渦 鞭 毛 藻	5	1	5
	黄 金 色 藻	30	10	400
	珪 藻	90	117	100
	ユ ー グ レ ナ 藻	30	5	25
	緑 藻	5791	1343	17964
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	100	100	181
	24	30	36	
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋	
採取年月日			2021.9.7	2021.9.7	2021.9.7	
採取時刻			11:11	10:33	9:45	
全水深(m)			19.7	15.6	15.0	
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	100	
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(15)	(15)	(35)
2			Aphanocapsa spp.	(20)	(35)	(55)
3			Aphanothece spp.	(360)	(30)	(400)
4			Cuspidothrix spp.	(10)	(10)	(15)
5			Merismopedia spp.	(10)		
6			Microcystis aeruginosa	3100	6500	26850
7			Pseudanabaena mucicola		(+)	(70)
8			Pseudanabaena spp.	(+)		(5)
9			Nostocaceae	(10)	(10)	(35)
10			Pseudanabaenaceae	(+)		
11			OSCILLATORIALES	(60)	(60)	(75)
12	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	190	425	575
13	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella		21	35
14			Peridinium spp.		+	+
15	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		5	10
16			Mallomonas spp.	10	20	75
17		珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	5	+
18			Aulacoseira pusilla	40	+	
19			Aulacoseira granulata	+	5	+
20			Nitzschia sp.			+
21			Ulnaria japonica	1	1	5
22			Urosolenia spp.	15	10	10
23			Thalassiosiraceae-5	25	20	
24			Thalassiosiraceae-10	+	20	30
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	5	+	15
26	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.			+
27			Ankyra spp.	170	65	90
28			Closterium spp.	6	1	3
29			Coelastrum sp.			+
30			Crucigenia tetrapedia	+		
31			Crucigenia spp.	140		
32			Crucigeniella crucifera	160	80	
33			Dictyosphaerium spp.	180	+	160
34			Elakatothrix spp.	10		15
35			Eudorina spp.	+	+	
36			Monoraphidium sp.			30
37			Oocystis spp.	20	15	+
38			Pediastrum simplex	+		16
39			Pediastrum tetras	+		
40			Scenedesmus spp.	100	110	40
41			Schroederia spp.	70	50	25
42			Staurastrum sp.	+		
43		CHLOROPHYCEAE	60	75	210	
44	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+	
45	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.	+		
46			Trichocercidae	1	1	
47			EUROTATOREA			1
48	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	1		+
49			POLYHYMENOPHORA			5
50		-	CILIOPHORA	+	15	+
51	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA	+	5	
52		真正太陽虫	HELIOZOA			5
53	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	+	75	75
54			鞭毛藻		50	75
55			鞭毛虫	25	+	100

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2021. 9. 7	2021. 9. 7	2021. 9. 7
総 数		4814	7734	29145
種 類 組 成	藍 藻	3585	6660	27540
	ク リ プ ト 藻	190	425	575
	渦 鞭 毛 藻	0	21	35
	黄 金 色 藻	10	25	85
	珪 藻	81	61	45
	ユ ー グ レ ナ 藻	5	0	15
	緑 藻	916	396	589
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	0	125	150
	27	21	111	
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・珪藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2021.10.5	2021.10.5	2021.10.5		
採取時刻			10:50	10:15	11:32		
全水深(m)			23.2	16.5	16.6		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(75)	(25)	(120)	
2			Aphanocapsa spp.	(135)	(80)	(35)	
3			Aphanothece spp.	(20)	(5)	(10)	
4			Coelosphaerium spp.		(15)		
5			Cuspidothrix spp.	(15)	(15)	(20)	
6			Dolichospermum spp.	(+)		(+)	
7			Merismopedia spp.	(10)			
8			Microcystis aeruginosa	3450	4600	5450	
9			Microcystis wesenbergii			+	
10			Pseudanabaena spp.		(20)	(40)	
11			Snowella sp.			(+)	
12			Nostocaceae	(15)	(10)	(25)	
13			Pseudanabaenaceae	(10)			
14			CHROOCOCCALES	(20)	(10)		
15			OSCILLATORIALES	(150)	(75)	(85)	
16	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	270	200	1100	
17	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	2	1	1	
18			Gymnodinium sp.			+	
19			Peridinium spp.	40	35	120	
20	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	5	5		
21			Mallomonas spp.	5	15	50	
22			Synura sp.			+	
23			CHRYSOPHYCEAE	+			
24			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	17	1	9
25			珪藻	Acanthoceras zachariasii	5	+	10
26		Aulacoseira ambigua		70			
27		Aulacoseira pusilla		30	+	+	
28		Aulacoseira granulata		40		+	
29		Melosira varians				+	
30		Nitzschia acicularis				+	
31		Nitzschia spp.		10	+	5	
32		Skeletonema potamos		+	+	+	
33		Staurosirella berolinensis		+	+	+	
34		Ulnaria japonica		+	5	10	
35		Urosolenia spp.			+	10	
36		Thalassiosiraceae-5		190	150	5	
37		Thalassiosiraceae-10	200	190	55		
38	Thalassiosiraceae-25	+					
39	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	15	20	60	
40	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40	40	440	
41			Ankyra spp.	190	+	25	
42			Ankistrodesmus sp.			+	
43			Closterium spp.	+	5	5	
44			Coelastrum spp.	+	+		
45			Crucigenia tetrapedia		20		
46			Dictyosphaerium spp.	+		+	
47			Elakatothrix spp.	20	+	+	
48			Eudorina spp.	160	208	312	
49			Micractinium spp.		+	+	
50			Monoraphidium spp.	5	+	5	
51			Oocystis spp.	+		+	
52			Pandorina morum			+	
53			Pediastrum duplex	+			
54			Pediastrum simplex			32	
55			Pediastrum tetras			+	
56			Scenedesmus spp.	100	60	40	
57			Schroederia spp.	30	65	75	
58			Staurastrum spp.		+	+	
59	CHLOROPHYCEAE	640	425	1650			
60	節足動物	甲殻	CRUSTACEA	+			
61	輪形動物	輪虫	Keratella sp.		+		
62			Polyarthra spp.	+	2		
63	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+		
64			Tintinnidium spp.	1	+		
65		多膜口	POLYHYMENOPHORA	+	5		
66			CILIOPHORA		20		
67	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		5		
68	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100	50	50	
69			鞭毛藻	175	50	100	
70			鞭毛虫	125	50	75	

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2021. 10. 5	2021. 10. 5	2021. 10. 5
総 数		6385	6502	10034
種 類 組 成	藍 藻	3900	4855	5785
	ク リ プ ト 藻	270	200	1100
	渦 鞭 毛 藻	42	36	121
	黄 金 色 藻	10	20	50
	珪 藻	545	345	95
	ユ ー グ レ ナ 藻	15	20	60
	緑 藻	1185	823	2584
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	292	101	159
		126	102	80
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋		
採取年月日			2021.11.4	2021.11.4	2021.11.4		
採取時刻			12:48	11:45	13:48		
全水深(m)			19.9	15.1	15.5		
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100	100		
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon spp.	(+)	(10)	(+)	
2			Aphanocapsa spp.	(+)	(25)	(15)	
3			Merismopedia sp.			(5)	
4			Microcystis aeruginosa	560	2700	1300	
5			CHROOCOCCALES	(30)	(10)	(85)	
6			OSCILLATORIALES	(5)	(15)	(10)	
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	500	400	725	
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Ceratium hirundinella	17	11	1	
9			Gymnodinium sp.			+	
10			Peridinium spp.	20		+	
11	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	35	135	40	
12			Mallomonas spp.	5	+	5	
13			Synura spp.	15		35	
14			ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	38	4	15
15				珪藻	Acanthoceras zachariasii	+	+
16		Aulacoseira ambigua	+				
17		Aulacoseira pusilla	+				
18		Aulacoseira granulata				+	
19		Urosolenia sp.	+				
20		Thalassiosiraceae-5	115		30	150	
21		Thalassiosiraceae-10	40	15	60		
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	15	35	25	
23	緑色植物	緑藻	Ankyra spp.	5	35		
24			Ankistrodesmus spp.	+	+	+	
25			Closterium spp.	+	5	15	
26			Coelastrum spp.	80		40	
27			Crucigenia tetrapedia			120	
28			Crucigeniella sp.	+			
29			Dictyosphaerium spp.	40	200	20	
30			Elakatothrix spp.	+	+	+	
31			Eudorina spp.	80	+	48	
32			Oocystis spp.			50	
33			Pediastrum simplex			+	
34			Planctonema spp.	200		50	
35			Scenedesmus spp.	170	60	190	
36			Schroederia spp.	+		+	
37			Staurastrum sp.	2			
38	CHLOROPHYCEAE	90	30	130			
39	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		+		
40	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	5		
41	繊毛虫	多膜口	Tintinnopsis spp.	+		3	
42			POLYHYMENOPHORA	5	10		
43		-	CILIOPHORA	+	15	10	
44	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+	+	
45	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)			10	
46			鞭毛藻	15	10	20	
47			鞭毛虫		20	30	

採 取 地 点		提体直上流部	小 月 橋	亀 山 大 橋
採 取 年 月 日		2021.11.4	2021.11.4	2021.11.4
総 数		2082	3780	3212
種 類 組 成	藍 藻	595	2760	1415
	ク リ プ ト 藻	500	400	725
	渦 鞭 毛 藻	37	11	1
	黄 金 色 藻	55	135	80
	珪 藻	155	45	215
	ユ ー グ レ ナ 藻	15	35	25
	緑 藻	667	330	663
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	53	14	45
	動 物 性	5	50	43
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備 考				
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasiiは、従来シノニムである Atteya zachariasiiとされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2021.12.7	2021.12.7	2021.12.7
採取時刻			9:19	9:48	8:49
全水深(m)			20.5	15.1	15.5
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(+)	
2			OSCILLATORIALES	(+)	
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	15	260
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	+
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos	+	15
6			Mallomonas sp.		+
7			Synura sp.		+
8			CHRYSOPHYCEAE	50	15
9		珪藻	Asterionella formosa		+
10			Aulacoseira ambigua	+	+
11			Aulacoseira pusilla	+	+
12			Aulacoseira granulata		+
13			Skeletonema potamos	40	+
14			Ulnaria japonica	+	
15			Thalassiosiraceae-5	5	15
16			Thalassiosiraceae-10	15	5
17			Thalassiosiraceae-25	+	+
18			BACILLARIOPHYCEAE	5	
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	5	10
20	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.		+
21			Closterium spp.	5	20
22			Coelastrum spp.	+	+
23			Elakatothrix sp.		
24			Micractinium sp.		+
25			Oocystis spp.	+	20
26			Pediastrum tetras	8	
27			Scenedesmus spp.		+
28			Staurastrum sp.		+
29				CHLOROPHYCEAE	20
30	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	+	
31			Synchaeta sp.		+
32	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	5
33			POLYHYMENOPHORA		5
34			-	CILIOPHORA	+
35	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+
36	不明プランクトン		鞭毛虫		5
総数			174	425	178
種類組成			藍藻	0	0
			クリプト藻	15	260
			渦鞭毛藻	5	0
			黄金色藻	50	30
			珪藻	65	20
			ユーグレナ藻	5	10
			緑藻	33	90
			その他の植物性	0	0
			動物性	1	15
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2022.1.5	2022.1.5	2022.1.5
採取時刻			11:38	10:37	12:20
全水深(m)			21.1	15.2	15.6
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa		47
2			OSCILLATORIALES	(+)	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	30	60
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10	+
5	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		5
6			Synura spp.	5	5
7			CHRYSOPHYCEAE	+	5
8		珪藻	Asterionella formosa	+	+
9			Aulacoseira ambigua		+
10			Aulacoseira pusilla		+
11			Nitzschia spp.	+	+
12			Skeletonema potamos	40	30
13			Ulnaria japonica		+
14			Thalassiosiraceae-5	20	30
15			Thalassiosiraceae-10	5	20
16			Thalassiosiraceae-25	+	+
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	+	10
18	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	2	3
19			Monoraphidium sp.		+
20			Scenedesmus sp.	+	
21			CHLOROPHYCEAE	10	5
22			Polyarthra sp.		+
23	絨毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+	
24		-	CILIOPHORA	+	+
25	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+
26	不明プランクトン		鞭毛藻		20
27			鞭毛虫	20	+
総数			162	235	105
種類組成			藍藻	クリプト藻	渦鞭毛藻
			0	30	10
			47	60	0
			0	0	0
			5	10	40
			85	80	0
			0	10	0
			12	8	5
			0	20	10
			20	0	10
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2022.2.1	2022.2.1	2022.2.1
採取時刻			9:35	10:10	9:10
全水深(m)			19.5	14.8	15.4
採取水深(m)			0.50	0.50	0.50
採水量(ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(5)	(+)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE		30
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		5
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas akrokomos		15
5			Mallomonas spp.		5
6			Synura spp.	161	221
7		珪藻	Asterionella formosa	24	48
8			Aulacoseira ambigua	+	+
9			Aulacoseira pusilla	30	+
10			Nitzschia sp.	+	+
11			Skeletonema potamos	10	+
12			Ulnaria japonica	+	+
13			Thalassiosiraceae-5	150	150
14			Thalassiosiraceae-10	35	65
15			Thalassiosiraceae-25	+	15
16	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	10	25
17	緑色植物	緑藻	Closterium spp.	1	8
18			Oocystis sp.		15
19			Tetraedron sp.		+
20			CHLOROPHYCEAE	10	35
21	輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.		+
22	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	4	6
23			CILIOPHORA	+	10
24	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)		10
25			鞭毛藻	10	60
26			鞭毛虫	+	10
総数				450	707
種類組成				5	0
				0	30
				0	5
				161	241
				249	278
				10	25
				11	58
				10	60
				4	10
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（亀山ダム貯水池）プランクトン同定計数結果

採取地点			堤体直上流部	小月橋	亀山大橋
採取年月日			2022.3.4	2022.3.4	2022.3.4
採取時刻			9:07	9:34	8:34
全水深 (m)			19.3	15.3	15.2
採取水深 (m)			0.50	0.50	0.50
採水量 (ml)			100	100	100
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena spp.	(5)	(+)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	150	150
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	1800	260 360
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.		+
5			Mallomonas akrokomos	+	45 10
6			Mallomonas spp.	5	5 10
7			Synura spp.		+
8		珪藻	Asterionella formosa	55	12 23
9			Aulacoseira ambigua	+	
10			Aulacoseira pusilla	50	+
11			Fragilaria spp.	10	+
12			Nitzschia acicularis	+	+
13			Nitzschia spp.	+	+
14			Skeletonema potamos	525	440 105
15			Ulnaria japonica	25	20 90
16			Ulnaria spp.	4	1 +
17			Thalassiosiraceae-5	900	525 575
18			Thalassiosiraceae-10	1200	1800 2400
19			Thalassiosiraceae-25	+	
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas spp.	50	75 50
21	緑色植物	緑藻	Closterium spp.		+
22			Coelastrum sp.		+
23			Dictyosphaerium sp.		40
24			Monoraphidium spp.	20	5 5
25			Pandorina morum		16
26			Scenedesmus sp.		+
27			Yamagishiella unicocca		32 32
28			CHLOROPHYCEAE	160	420 185
29	節足動物	甲殻	CRUSTACEA		1
30	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	2	+
31			Synchaeta spp.	+	+
32	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	3	3 1
33		多膜口	Tintinnidium spp.	4	12 35
34			POLYHYMENOPHORA		10 15
35		-	CILIOPHORA	+	15 5
36	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		5 20
37	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	75	400 150
38			鞭毛藻	100	700 325
39			鞭毛虫		250 50
総数			5143	5402	4647
種類組成			藍藻	5	0 0
			クリプト藻	150	260 150
			渦鞭毛藻	1800	350 360
			黄金色藻	5	50 24
			珪藻	2769	2798 3198
			ユーグレナ藻	50	75 50
			緑藻	180	473 264
			その他の植物性	175	1100 475
			動物性	9	296 126
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					